



らいと・れーる

2022
冬
vol.18

発行/2022年2月 発行者/枚方LRT推進会

(URL)<http://www.techno-net.com/~lrt-hrkt/> (Twitter) @hirakata_lrt (facebook) <https://www.facebook.com/hirakata.lrt>

秋期研究会を開催しました

山本直弘
畑中則宏



昨年11月7日、サンプラザ生涯学習市民センターにて秋期研究会を開催しました。緊急事態宣言解除後間もない時期でのイベントでしたが十数名ご参加いただきました。

前半は芳賀宇都宮 LRT 建設現場の視察模様を、配布した路線図をもとに現地で撮影した写真や動画でお伝えしました。2年前(2019年6月)と比べて車庫の建設や車両の搬入、路盤工事や橋梁架設、用地取得など目に見える進捗を紹介することができました。イメージよりも実物がある方がより実感を強く持てるという感触を共有しました。

後半は枚方市内のバスの現況と課題について最近5年の動向を中心にお伝えしました。利用者減少による減便や廃止、運賃や割引制度について、この5年間でどれだけ変化しているのかをお伝えしました。また富田林市域での運賃制度を紹介するなど、今後バス路線はどうあるべきかなど提起しました。

「枚方市総合交通計画」をご存じですか？

枚方市が2018年12月に策定した「枚方市総合交通計画」、皆さんはご覧になりましたか？これは2019年度から概ね20年後の将来都市像を見据え、10年後(2029年)までに実現させていく総合的交通計画として策定されたものです。果たして、この計画の実現で現在抱えている交通問題を解消できるのかなど、皆さんのご意見をお寄せください。



滋賀県で交通税の導入が検討されています

長江 隆 司

2020年11月、滋賀県の三日月知事は県税制審議会で、地域公共交通を支えるための税制について提起されました。県は人口減少等で地方鉄道や路線バスが存続の危機にあると認識しており、これらの維持や利便性の向上に対する新たな税財源の確保を検討しています。地域公共交通に特化した県独自の税制が創設されれば全国初の「交通税」となります。

2021年4月の審議会答申では今後の論点として、①今後策定される都市計画や交通ビジョンとの関係②いろいろな地域レベルでの様々な課題に対しての県レベルでの役割③課税方式と用途、が挙げられています。

高齢者はじめ地域住民の足となる地域交通を維持することは、「移動権」の保障につながります。利用者減少の一方で取り残された高齢者の移動をどうするかなど、地域交通の問題は全国各地にあり、滋賀県の今後の議論および施策等が注目されます。

他地域での動き(2021.11~2022.1)

【岡山市】路線バス・路面電車運賃無料 DAY が開催される

11月28日と12月10日、計2日

【高知市】「路面電車・路線バス等」無料デーが開催される

11月3日~1月30日の日祝および12月30日~1月3日、計20日

【松山市】松山市駅前広場整備事業の社会実験が実施される

①11月8日~19日、②11月20日~21日、計2回

【宇都宮市】芳賀宇都宮LRT、鬼怒通りのレール敷設工事が始まる

JR宇都宮駅~車両基地付近の約3キロ、2023年3月の開業に向けて整備

【東京都葛飾区】貨物線の旅客路線化事業に着手、2030年頃開業を目指す

新金貨物線(常磐線金町駅~総武線新小岩駅)、LRT型車両の導入を検討

【徳島県】JR四国と徳島バス、一部区間で運賃の一体的な運用で業務提携へ
鉄道会社とバス会社による業種を超えての認可申請は、全国初の模様

◆◆ 2022年度総会・特別講演会のお知らせ ◆◆

開催日が決定しました。特別講演会の内容は、決定次第お知らせします。

(日時) 5月22日(日)13:30~16:00

(場所) ラポールひらかた 4階大研修室

編集後記

本年も引き続きよろしくお願いいたします。新型コロナウイルスが感染再拡大していますが、当推進会においても会議やイベント等を開催する際は、安心して参加できるよう十分な感染対策を厳守していきたいと思っております。

